

第8弾『絵のあるまちづくり』

目的 地域の皆さんといっしょに公共施設の壁面などを活用し、絵を描くことで、地域の子どもたちに景観を「守る心」、「育てる心」を養ってもらい、景観保全、落書き防止などに結び付ける。

主催 景観市民会議「景観人の集い」

協力 東陽中学校、誠風中学校、小津中学校

実施日 平成28年3月25日（金）
～3月30日（水）

場所 泉大津市松之浜町
南海本線コンクリート塀（西側）

※この活動で使用した塗料は、日本ペイント株式会社から寄贈いただき、その他の経費は、深喜人材育成基金を活用しております。



『第8弾絵のあるまちづくり』今回のキャンパスは松之浜町の、南海本線の連続立体交差事業によってできたコンクリート塀。規模は長さが約140m、高さ約2mで、四季折々の草花を描きました。市内の3中学校（東陽中学校・誠風中学校・小津中学校）の生徒約50名が参加し、大きなキャンパスに戸惑いながらも楽しく描くことができ、見事にスケールの大きな絵を完成させました。

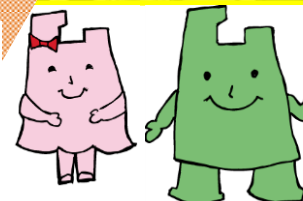
★絵を描き始める前に、全員集合★



☆一列に並んで、端から端まで約140m、背景を水色で塗っていきます☆



☆キャンパスとなるコンクリート塀を洗浄、そして下塗りをして、絵を描く準備は完了!! ☆



☆絵を描き始めると、みんな夢中になって黙々と描き続けます☆

★描く植物の下書きをしていきます★



☆四季折々の草花が140mにもわたって並んでいます☆

★みんな夢中になっていて、あまり気づいていませんが、期間限定のスターウォーズのラピットが通りました★



♪五線の上に草花が描かれ、今にも音楽が聞こえてきそうな雰囲気です♪



完成!!

